



国名	マラウイ共和国 (Republic of Malawi)
面積	118,484平方Km (日本の約1/3)
人口	1,760万人 (2016年, 国家統計局)
首都	リロングウェ
独立	1964年7月6日
公用語	英語, (国語: チェワ語)
政体	共和制
大統領	ピーター・ムタリカ

Homepage www.japan-malawi.org
Email info@japan-malawi.org
Facebook facebook.com/japan.malawi
Twitter twitter.com/JpMalawi
YouTube Malawi Society of Japan

日本とマラウイ両国間の理解を深め、文化、スポーツ、経済、科学技術等の協力を通じ、相互の繁栄に寄与することを目的とする任意団体。1983年2月26日設立。

◆マラウイ柔道が世界選手権に出場しました◆

9/20~27, アゼルバイジャンで開催された世界柔道選手権にマラウイ選手団 (男性3名, 女性1名) が出場しました。コーチを務めたのが, 青年海外協力隊柔道隊員の工藤龍馬さん (2017/3)。今回は残念ながら敗退したものの, 東京オリンピックを目指して健闘を期待したいです。がんばれ, マラウイ柔道!



【日本マラウイ協会 Malawi Society of Japan】



入会ならびに会費納入のお願い

当会は、会員が納入する会費により運営を行っております。会の目的、活動内容に賛同される方々のご入会、会費納入をお願い申し上げます。

ホームページからお申込みいただく方法が最も簡単ですが、集いなどの受付でもお申込みいただくことも可能です。

区分	入会金	年会費	備考
正会員	1,000円	3,000円	
賛助会員	0円	1,000円	郵便物の送付なし
団体会員	3,000円	10,000円	公的・非営利団体
法人会員	10,000円	30,000円	協賛企業

方法	口座など
銀行振込	三菱東京UFJ銀行 東恵比寿支店 (普) 255739「日本マラウイ協会事務局 貝塚光宗」
郵便振替	ゆうちょ銀行 〇一九店 (ゼロイチキウ店) (当) 0013125「日本マラウイ協会」 ゆうちょ銀行送金: 口座番号00190-7-13125



KWACHA

http://www.japan-malawi.org info@japan-malawi.org

第60号
2018年
11月17日発行

アジアとアフリカの世紀の胎動と課題, そして挑戦。



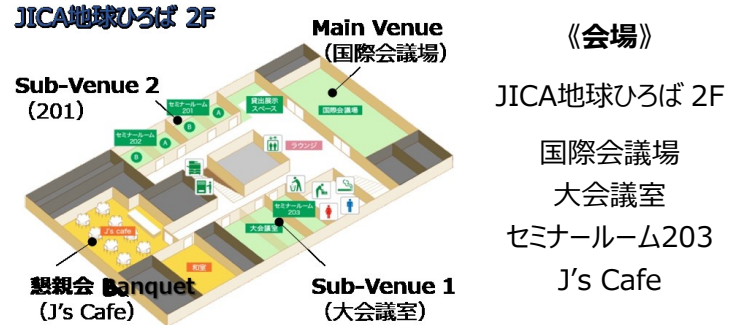
7月14日 (土) に日本マラウイ協会創立35周年を記念して「共に進もう! 21世紀はアジアとアフリカの世紀」をテーマに「マラウイを語る集い2018」を開催しました。
 国連統計によれば現在, アフリカの人口は12億人, 2050年には25億人に達し, この間の世界人の6割を占め, まさにアジアに続く成長センターと期待されています。とはいえ, 人口増加が直ぐに成長に繋がる訳ではありません。アジアでアセアン各国・中国・インド等が経験した通り, 経済成長につなげるには, 増加する人口 (労働力) を雇用する産業, 特に生産性の高い製造業や農業・鉱業などの高付加価値化が重要になります。アフリカ諸国の多くは投資を呼び込むにはインフラの未整備, 優秀な企業人材の確保等色々なハードルがありますが, 経済成長を実現するにはどれも, 避けて通れない課題です。一方で, 世界の人口増がもたらす, もう一つの側面への対応, 資源の限界, 環境への影響, 社会構造の変化等, 地球規模での持

続可能性への取り組みも重要な視点となってきています。アフリカが直面するのは, 持続可能性を意識した経済成長の実現と言う新たな挑戦でもあります。
 日本政府はTICADを通じて, アフリカの企業人材育成やインフラ整備等の課題解決への支援を強力に行っていますし, 日本企業の多くもアフリカの潜在力を認識しつつ, 持てる技術・人材を如何に活用して果実に繋げるかと言う課題に日々取り組んでいます。最後のフロンティアとも思われる, アフリカの経済成長と持続可能性への取り組みには一企業だけでなく, 企業間の枠を超えた政府, 国際機関, N G O, 大学などの学术界等幅広い分野と最適なパートナーシップを築いて進める事が課題解決への一つの鍵だと思われます。マラウイでも, 農業分野での生産性向上, 製造業の誘致・育成および, 同分野における雇用拡大に一層注力する事は最優先の課題であり, 国の安定には欠かせません。日本マラウイ協会も, 会員の皆様の知見・ネットワークを生かし, 両国の経済分野も含むさらなる関係強化に資するよう活動を広げて行ければと思います。
 西岡 周一郎 (副会長/前在マラウイ日本大使)

「マラウイを語る集い2018」 (7/14 (土) JICA地球ひろば) 開催しました。

《全般》登壇された方々, 後援いただいた機関・団体, 協賛企業からのご支援, ご協力のおかげで, 充実した内容と密度の高い交流の場を提供でき, 多方面から非常に高い評価をいただきました。スピーチいただいたバンダ大使をはじめ駐日マラウイ共和国大使館関係者, 筑波大学の日本マラウイ学生団体メンバー各位にも積極的に協力をいただき, 司会, 発表, 運営支援で貢献いただきました。協賛企業には企画段階からご協力いただき, 円滑な運営を行うことができました。開催二日後には, 読売新聞の英字紙「Japan News」(紙面とWeb) にニュースとして紹介されました。開催当日, 衆議院議員の逢沢一郎様 (日本・アフリカ連合 (AU) 友好議員連盟会長) より, 重要な祝電をいただきました。厚く感謝申し上げます。また, 一般社団法人アフリカ協会理事長の大島賢三様 (元国連大使) もご多忙の中, 本懇親会に出席

いただき, 当会の野呂会長, 貝塚専務理事と懇談いただきました。《内容》当催事は, メインテーマ「共に進もう! 21世紀はアジアとアフリカの世紀」のもと, SDGsを考慮したプログラム編成を行いました。実際に, AIDSが流行するマラウイで医師として大変な苦勞されながら活動された杉下氏の基調講演では, 開発と伝統文化に焦点を当てた興味深い講演をいただきました (オンラインでコンテンツを配信中)。また, UNDP駐日代表の近藤氏, 在マラウイ日本大使の柳沢氏, 味の素・常務執行役員の吉宮氏, ダンサーの中込氏らによるパネル討論会では「マラウイ, サブサハラからできること, 日本からできること」をテーマに討議を行いました。ミュージシャン (IYCO & KAKA FURAHA), ダンサー (中込氏), サッカー選手 (中村氏) のトークやパフォーマンスステージも加わって, 日本とマラウイとの多面的な接点を皆様に体感いただくことができました。さらに, JICAマラウイ事務所とWeb会議システムを用いた中継を介してマラウイの当事者 (スマイリ氏) が参加する形で, 当会が継続的に取り組んできている小額資金支援プロジェクト「ウォームハートプロジェクト」をライブ・シンポジウムを通して報告することができました (次ページ・アルバムを参照ください)。《広報》リアルな催事の開催のために, バーチャルなメディア (ホームページ, メール, YouTube, SNSなど) を利用できたことは特筆すべきことであり, 今後とも, 積極的に活用して, 広範な伝達・交流を進めていきたいと考えております。



35周年を記念する充実したフォーラムとなりました。

マラウイを語る集い 2018

7/14 (土) JICA地球ひろば

アルバム



会長, 両国大使のスピーチ



基調講演 (杉下智彦教授)



パネル討論会



マラウイ中継シンポ



ミュージシャン・サッカー選手のトークショー



音楽とダンスのコラボステージ



パラレルセッション (企業・NPO・大学)



懇親会・受付・その他のシーン

「マラウイを語る集い2018」開催概要

項目	内容
日時	2018年7月14日 (土)
会場	JICA地球ひろば 国際会議場他 (2階)
主催	日本マラウイ協会
協賛	丸紅プロテックス株式会社, 三菱商事株式会社, NSコーポレーション
後援	外務省, 独立行政法人国際協力機構, JICA地球ひろば, 公益社団法人青年海外協力協会, 駐日マラウイ共和国大使館, 一般社団法人アフリカ協会, 一般社団法人アフリカ開発協会, 特定非営利活動法人アフリカ日本協議会



読売新聞の英字紙「Japan News」に7/16 (月) ニュースとして掲載されました。

MALAWI
(ON AIR)
.TOKYO

ネット番組「マラウイ・オンエア (MOA)」を開始!

ニュース・報告・打合せ。国内外どこにいてもオンエアに参加できます!

当会は、ネット番組「マラウイ・オンエア (MOA)」を開始し、10月27日 (土) 16:00から1時間、第1回の番組を配信しました。インターネットへ接続できれば、どこにいても参加できますので、遠隔地の会員の方々のご参加をお待ちしています。

第1回のオンエアは、以下のような流れで行われました。

1. 「マラウイを語る集い2018」の実施報告
2. 東京大学柏キャンパス開催「一般公開2018」にて、マラウイ人留学生Estiner Katengezaさんの歌唱ステージの動画を中継しました。
3. マラウイ協力隊OVの岩田麻央さんへ、マラウイ題材の絵本でクラウドファンディングやマラウイ支援に向けた収益活用の計画などについて、インタビューを行いました。

名称	マラウイ・オンエア (Malawi On Air/MOA)
主催	日本マラウイ協会
開催頻度	1~2か月に1番組 (1時間)
言語	英日混合 (通訳は入りません)
専用サイト	https://www.malawionair.tokyo
接続URL	https://zoom.us/j/2221110123 (パスワードはメールニュースで案内します)

Quarter 1
Report on Japan-Malawi Forum 2018 「マラウイを語る集い2018」報告

Quarter 2
Malawian Student Singer ESTINER Sings On A Stage

Quarter 3 (In Japanese)
絵本を通じて、未来の可能性を

岩田 麻央氏 (マラウイ協力隊OV) が、マラウイ題材の絵本でクラウドファンディングを開始。収益をマラウイの支援へ。ご本人に出演いただきます。

Quarter 4
Next "On Air" 次回番組の予告

※ 第2回のオンエアは12月に予定しています。情報交流の場として活用したいと思いますので、ご意見、ご要望をお知らせください。

Email: info@japan-malawi.org

初来日マラウイ人留学生歓迎レセプションを11月23日 (金) に開催

23-Nov-2018
14:00-17:45
JICA Global Plaza

2018/11/23 (金)
14:00-17:45
JICA地球ひろば

Welcome Reception for Malawian Students

Organizer:
The Embassy of the Republic of Malawi
Co-hosted by The Malawi Society of Japan

WELCOME

RECEPTION - AUTUMN 2018

日本マラウイ協会

マラウイから初めて来日した留学生 (9名予定)、滞在中のマラウイ人留学生らを迎えて、歓迎レセプションを開催することとなりました。当会会員の方々、マラウイと所縁のある方々は、マラウイの宝たちに、エールをお送りください。

日時	2018年11月23日 (金・祝) 14:00~17:45
会場	JICA地球ひろば (東京都新宿区) 2F
主催	マラウイ共和国大使館
共催	日本マラウイ協会
参加費	5,000円 (一般), 3,000円 (学生・アフリカ出身者) 中学生以下の同伴者は無料。
申込	itaru.obayashi@gmail.com (マラウイ大使館・大林格) 宛てに①参加者名, ②区分 (一般・学生・アフリカ出身者), ③連絡先 (メール・電話) を明記してメール連絡ください。

DATE & TIME: Friday, 23rd Nov, 2018 14:00-17:45
LOCATION: JICA Global Plaza (Near Ichigaya Sta., Tokyo)
ORGANISER: The Embassy of Malawi in Japan
CO-HOST: The Malawi Society of Japan
PARTICIPATION FEE:
 • Regular: 5,000JPY, Student/African: 3,000JPY.
 • Malawian Students are registered separately.
 • Accompanying child (at junior high school or below) is free.
PROGRAM (Tentative):
Orientation (Seminar Room 202AB) 14:00-15:45
 • Welcome Speeches (Ambassador, Chairperson)
 • Introduction of Japan (Video and Photo Slides)
 • Report on the Judo World Cup Championship
 • Speeches by the Students
 • Attraction (Japanese Performance)
Reception (J's Café) 16:00-17:45

For more details and advance registration:

Email: itaru.obayashi@gmail.com (Mr. Itaru Obayashi at the Embassy of Malawi)
 Please include: (1) Name, (2) Type (Regular/Student/African), and (3) Email/Phone No.
<http://www.malawiembassy.org>, <http://www.japan-malawi.org>

急告

歓迎レセプション

11/23(金)
14:00-17:45
JICA地球ひろば

Welcome Reception for Malawian Students

On Friday, 23-Nov-2018 14:00-17:45 JICA Global Plaza, Tokyo

※ 詳細はホームページ, メールニュースを参照ください。